平成20年度 病院事業会計（1年間）の状況

患者数は横ばい、減価償却費等を除いた実質収支では内部留保を確保

年間の入院患者数は4万2,665人で前年度比0.6%の減、外来患者数は5万5,831人で0.1%の微増となり、ほぼ前年度と同様となっています。

収益的収支（運営の会計）は病院事業収益が15億6,996万円（前年度比3.9%減）、病院事業費用は16億1,484万円（前年度比1.4%増）で、4,488万円の純損失となりました。

なお、流動資産から流動負債を差し引いた内部留保額は、平成19年度末で822万円でしたが、平成20年度末では2,155万円となっています。

資本的収支（施設・設備整備の会計）は、患者監視装置システム、財務会計システム等の医療機器等整備と西棟ボイラー交換工事及び通常の起債償還を行いました。

○業務状況

	総　数	1日平均
入院患者数	42,665人	116.9人
外来患者数	55,831人	229.8人
休日・夜間の救急患者数	1,431人	4人
訪問診療患者数(介護保険)	1,148人	

○収益的収入及び支出（経営の会計）

	項　目	決　算　額
事業収益	医業収益	13億3,308万1千円
	医業外収益	2億3,471万1千円
	特別利益	216万8千円
	合計	15億6,996万円
事業費用	医業費用	16億307万7千円
	医業外費用	1,172万2千円
	特別損失	4万4千円
	合計	16億1,484万3千円
純利益		4,488万3千円

○資本的収入及び支出（施設・設備整備の会計）

	項　目	決　算　額
収入	出資金	9,283万4千円
	企業債	2,960万円
	合計	1億2,243万4千円
支出	建設改良費	3,431万3千円
	企業債償還金	8,812万1千円
	合計	1億2,243万4千円

○患者の地域別割合

	志津川地区	歌津地区	登米市	その他
入院患者	71.8%	18.0%	3.0%	7.2%
外来患者	78.9%	15.3%	2.1%	3.7%

○内部留保（流動資産－流動負債）等の状況

	平成6年度末	平成18年度末	平成19年度末	平成20年度末
内部留保	▲10億11,68万1千円	▲9,636万4千円	822万8千円	2,155万5千円
一時借入金	10億8,000万円	3億5,000万円	2億円	2億5,000万円

※流動資産から流動負債を差し引いた結果マイナスとなった場合は、不良債務として▲で表示しています。

訪問看護ステーション事業会計

利用者数は減少、業務見直しにより純利益を確保

年間の延べ訪問回数は5,775回で、前年度より4.8%減少しました。年度末での利用登録者数や利用者数実人員は減少しましたが、1人当たりの月平均利用回数は増加しています。

収支では、収益合計が前年度比8.1%減の4,509万円、費用合計は、前年度比9.0%減の4,494万円で、15万円の純利益となりました。これにより、年度末の利益剰余金の額は1,221万円となっています。

なお、訪問回数の減により事業収益が減少しましたが、常勤職員を1名減したことにより利益が発生しています。

○訪問看護ステーション業務状況

年度末利用登録者数	97人
延訪問回数	5,775回
1人あたり月平均利用回数	6.4回

○訪問看護ステーション決算状況

	項目	決算額
事業収益	事業収益	4,506万2千円
	事業外収益	3万円
	特別利益	0円
	合計	4,509万2千円
事業費用	事業費用	4,486万9千円
	事業外費用	7万5千円
	特別損失	0円
	合計	4,494万4千円
純利益		14万8千円

○患者の地域別割合

志津川地区	歌津地区	その他
79.2%	19.2%	1.6%

○利益剰余金

利益積立金	490万5千円
繰越利益剰余金	1,221万5千円
合計	1,712万円

南三陸町連結バランスシート

バランスシートは、平成20年度末現在の町全体で所有している資産や負債等の状況を明らかにしたものです。シートの借方(左側)は資産を表し、貸方(右側)は資金の財源を表しており、一般会計のほか、水道事業会計などの公営企業会計、国民健康保険特別会計などの特別会計の全会計を連結（合算）しています。

（単位：千円）

勘定科目（借方）	平成20年度末	町民1人当たり	勘定科目（貸方）	平成20年度末	町民1人当たり
【資産の部】			【負債の部】		
1　有形固定資産	41,572,003	2,305	1　固定負債	18,520,089	1,027
2　投資等	5,450,878	302	(1) 地方債	15,323,365	850
(1)投資及び出資金	2,220,476	123	(2) 退職給与引当金	3,196,724	177
(2)貸付金	154,240	9	2　流動負債	1,587,335	88
(3)基金	1,732,072	96	(1) 翌年度償還予定額	1,262,555	70
(4)退職手当組合積立金	1,341,390	74	(2) その他	324,780	18
(5)その他	2,700	0	負債合計	20,107,424	1,115
3　流動資産	2,619,168	146			
(1)現金・預金	1,511,804	84	【正味資産の部】		
(2)未収金	1,093,038	61	正味資産合計	29,540,554	1,638
(3)その他	14,326	1			
4　繰延勘定	5,929	0			
資産合計	49,647,978	2,753	負債・正味資産合計	49,647,978	2,753

※昭和44年度以降の決算統計データを使用していますので、昭和43年以前の資産等は含まれておりません。　（平成21年3月31日現在の住民基本台帳人口　18,035人）

資産・負債は減少　正味資産は増加

前年度から、資産は34億1,345万円の減少（△0.7%）、負債は6億6,956万円の減少（△3.2%）、正味資産は3億2,821万円の増加（1.1%）となっています。

1　資産のうち、小・中学校、社会教育施設などの教育費、漁港などの農林水産業費、道路、町営住宅などの土木費、上下水道施設などの有形固定資産が84.6%を占めており、他の資産に比べて高い割合になっています。また、新町建設計画の進渉に伴う合併特例事業等の低減により、減価償却額が有形固定資産の増加額を上回ったため、前年度に比べ資産が減少しました。

2　負債のうち、固定負債の地方債と流動負債の翌年度償還予定額を合わせた地方債合計は、165億8,592万円となりました。前年度から4億9,422万円減少しており、これが負債が減少した主な要因となっています。

3　正味資産の状況
今までの資産形成の純増を表し、約295億4,055万円となりました。これは、町民1人当たり164万円の財産（道路、学校、漁港など）を現在に残していることを表しています。

南三陸町		
資産　496億4,798万円	負債	201億　742万円
	正味資産	295億4,056万円

町民1人当たり		
資産　275万円	負債	111万円
	正味資産	164万円

町が所有している主な財産

基金	山林	土地	建物	車両	出資による権利	有価証券
2,269,481,858円	2,415.27ha	353.50ha	113,405.46㎡	117台	114,223,000円	14,361,934円